事業評価票(資産分析を行う事業)

1	調査指導船「やしお」	の代船建造(産業労働局)	管理·運用開始	平成 6 年度
資産の概要		・「やしお」は、伊豆諸島北部海域における資源管理型漁業の推進、安全操業の確保等 を目的として、水産資源調査・監視活動等を行うために導入された船舶である。		
現状分析	需要状況 (利用・稼働等)	【年間運航実績】 ・平成27年度 154日、26年度 163日、25年度 147日		
	維持管理コスト	・維持管理費(所有)/年間:114,004千円 《 ・平成27年度 126,955千円、26年度 101,475千円		、≫平均 736千円/日 3千円
	老朽化状況	・稼働年数22年/耐用年数30年		老朽化率 73 %
	課題・問題点	・都には、広大な排他的経済水域が存在しており、4隻の漁業調査指導船が分担して、 水産資源調査・監視活動を実施しているが、現在の体制では、小笠原海域における 違法操業等への対応に際し、約40日の監視活動空白期間が発生する。		
今後の対応 (局計画) ・更新期の「やしお」を航行能力の高い、最新の監視機器を備えた船舶として建 より機動的な監視体制を構築する。				上船舶として建造し、
見積概要(局評価)		 世界的な水産物需要の高まりから、外国漁船による大規模な密漁・違反操業が横行しているため、広域監視に対応するとともに、精密な漁場調査を行えるよう、「やしお」の耐久性や居住性、調査能力を向上させ、かつ悪天候での航行や長期航海が可能な代船を建造する。 平成29年度は、代船建造に着手する。 129年度見積額 370,289 千円 28年度予算額 6,815 千円 		
財 務 局 評 価		・都海域における外国漁船の違法操業等への対応 り漁場荒廃や水産資源減少に対応することは重 取組であり、更新も現在の老朽化率等から妥当 められることから、見積額のとおり計上する。	要な ダゴ	見直し その他 拿額 370, 289 千円
2	河川水面清掃船建造	(建設局)	管理・運用開始	平成 19 年度
	資産の概要 ・河川水面清掃船は水面に浮かぶごみを回収し、河川の清掃を行うために導入された船舶である。			
	需要状況 (利用・稼働等)	【年間使用回数】 (1隻平均) 平成27年度 258回、26年度 256回、25年度 257回		
現状分析	維持管理コスト	・維持管理費(1隻リース平均)/年:9,590千円(保守・修理経費込み)		
	老朽化状況	・稼働年数10年/耐用年数12年老朽化率83 %		
	課題・問題点	・現在使用する船は、船齢が耐用年数に達していないにも関わらず故障等が多い。 ・修理については、故障・損傷状況の確認や原因調査等の過程を経るため、修理完了までに長い期間を要し、その間、船の使用ができない。		
今後の対応 (局計画) ・河川水面清掃船の更新については、新規建造を行うことで、河川水面清掃業務を に実施していく。				水面清掃業務を着実
見 積 概 要 (局評価)		 現在リースにて運用している河川水面清掃船を都所有にすることでライフサイクルコストの低減を図る。なお、平成29年度は建造に向けた詳細設計費を見積もる。		
財務局評価		・現在の船舶のリース期間終了に伴い、都所有の船に切り替えることで、修理による停止期間のや将来的な維持管理コストの縮減が見込まれるから、見積額のとおり計上する。	低減	見直し その他 算額 10,600 千円